
2. 発表論文等

第2章に掲載した論文等は各団体から転載の許可を得て掲載しております。

なお、著作権は各団体に帰属するため、転載を禁じます。

2.1 論文

| | |
|--|-----|
| 1) 多摩丘陵および関東山地における非飛翔性哺乳類の種組成に対する 森林の孤立化の影響 | 71 |
| 2) クロバナエンジュ (<i>Amorpha fruticosa</i> L.) が優占する法面の 植生管理技術の検討 | 80 |
| 3) Current status of the Northern Goshawk <i>Accipiter gentilis</i> in Japan based on mitochondrial DNA | 86 |
| 4) 歴史的街路の印象に与える緑の導入効果に関する研究 | 100 |
| 5) 湿潤な切土法面における堅果類を用いた播種工の成果の評価 | 112 |
| 6) 国営武蔵丘陵森林公園において 36 年間に生じた森林植生の変化と 管理及び地形の関係 | 120 |
| 7) 木曾川におけるオオキンケイギク優占群落での礫河原植生復元のための 植生管理の効果 | 126 |

2.2 学会・シンポジウム要旨

| | |
|-------------------------------------|-----|
| 8) 景観行政推進に必要とされる研究課題について | 135 |
| 9) 識名園の景観に関する研究 ―大琉球の演出― | 139 |
| 10) 公共事業の景観向上効果に関する考察 | 141 |
| 11) 景観デザイン規範事例集の作成 | 151 |
| 12) 歴史的街路の印象を演出する緑の導入手法に関する研究 | 161 |

2.3 雑誌・特集記事等

| | |
|--|-----|
| 13) 韓国景観事情 | 171 |
| 14) 都市緑化樹木の CO ₂ ストック変化量把握に関する研究 | 172 |
| 15) 街路の景観 | 176 |
| 16) 赤外線センサーカメラを用いた野生哺乳類の分布調査 (生きもの技術ノート No. 59) | 190 |
| 17) 都市緑化樹木の CO ₂ 固定量把握手法に関する検討 | 191 |
| 18) わが国の街路樹の動向～2007年全国道路緑化樹木現況調査の結果から～ | 195 |
| 19) 巨樹・老樹の保全対策手法—景観重要樹木の管理指針策定を目的として | 201 |
| 20) Tree Decay Diagnosis System Using Gamma (γ) Rays | 207 |
| 21) 緑化植物 ど・こ・ま・で・き・わ・め・る オオキンケイギク (<i>Coreopsis lanceolata</i> L.) | 210 |

2.4 出典

2.1 ～ 2.3 に掲載した文献の出典は以下のとおりである。（掲載順に列挙）

2.1 論文

- 1) 園田陽一・倉本宣（2008）多摩丘陵および関東山地における非飛翔性哺乳類の種組成に対する森林の孤立化の影響，応用生態工学，11（1）：41-49.
- 2) 柏木亨・細木大輔・松江正彦（2008）クロバナエンジュ（*Amorpha fruticosa* L.）が優占する法面の植生管理技術の検討，日本緑化工学会誌，34（1）：9-14.
- 3) Shigeki, A. Daisuke, A. Yoshihiro, Y. Yoshimitsu, S. Masahiko, M. Hiroshi, M.（2008）Current status of the Northern Goshawk *Accipiter gentilis* in Japan based on mitochondrial DNA, ORNITHOLOGICAL SCIENCE, 7（2）：143-156.
- 4) 福井恒明・松江正彦・内藤充彦（2008）歴史的街路の印象に与える緑の導入効果に関する研究，景観・デザイン研究論文集，5：85-96.
- 5) 細木大輔・中村勝衛・亀山章（2009）湿潤な切土法面における堅果類を用いた播種工の成果の評価，日本緑化工学会誌，34（3）：508-515.
- 6) 太田望洋・畠瀬頼子・小栗ひとみ・松江正彦・長谷川雄太（2009）国営武蔵丘陵森林公園において36年間に生じた森林植生の変化と管理及び地形の関係，ランドスケープ研究，72（5）：517-522.
- 7) 畠瀬頼子・小栗ひとみ・藤原宣夫・宇津木栄津子・戸井可名子・井本郁子・松江正彦（2009）木曽川におけるオオキンケイギク優占群落での礫河原植生復元のための植生管理の効果，ランドスケープ研究，72（5）：537-542.

2.2 学会・シンポジウム要旨

- 8) 福井恒明（2008）景観行政推進に必要とされる研究課題について，土木計画学研究・講演集，37：280-283.
- 9) 影本信明・稲元豊（2008）識名園の景観に関する研究—大琉球の演出—，社団法人日本造園学会九州支部研究・事例報告集，16：27-28.
- 10) 溝口宏樹・福井恒明・角真規子・太田啓介（2008）公共事業の景観向上効果に関する考察，景観・デザイン研究講演集，4：1-10.
- 11) 小栗ひとみ・福井恒明・松江正彦・上島頭司（2008）景観デザイン規範事例集の作成，景観・デザイン研究講演集，4：50-59.
- 12) 福井恒明・松江正彦・内藤充彦（2008）歴史的街路の印象を演出する緑の導入手法に関する研究，景観・デザイン研究講演集，4：243-250.

2.3 雑誌・特集記事等

- 13) 福井恒明 (2008) 韓国景観事情, 土木技術資料, 50 (6) :47.
- 14) 松江正彦・長濱庸介 (2008) 都市緑化樹木の CO₂ ストック変化量把握に関する研究, 都市緑化技術, 69:14-17.
- 15) 福井恒明 (2008) 街路の景観, 交通工学ハンドブック 2008, 交通工学ハンドブック改訂小委員会:18-3-1~18-3-14.
- 16) 園田陽一・佐伯緑・松江 正彦 (2008) 赤外線センサーカメラを用いた野生哺乳類の分布調査 (生きもの技術ノート No. 59) , ランドスケープ研究 , 72 (2) :226.
- 17) 長濱庸介・松江正彦 (2008) 都市緑化樹木の CO₂ 固定量把握手法に関する検討, 土木技術資料, 50 (8) :28-31.
- 18) 武田ゆうこ (2008) わが国の街路樹の動向~2007年全国道路緑化樹木現況調査の結果から~, 道路と自然 , 36 (1) :46-51.
- 19) 飯塚康雄 (2008) 巨樹・老樹の保全対策手法—景観重要樹木の管理指針策定を目的として, グリーン・エージ, 35 (10) :32-37.
- 20) Yasuo, I. (2009) Tree Decay Diagnosis System Using Gamma (γ) Rays, ARBORIST・NEWS, 18 (1) :47-49.
- 21) 畠瀬頼子 (2009) 緑化植物 ど・こ・ま・で・き・わ・め・る オオキンケイギク (*Coreopsis lanceolata* L.) , 日本緑化工学会誌, 34 (3) :551.